植生学会誌執筆要領

1. 原著論文，総説は和文または英文とし，原稿は次の順序で記述する．なお，各項目間は 1 行あけること．
   A. 和文原稿：(1)表題，(2)著者名，(3)所属，(4)英文表題，(5)ローマ字著者名，(6)英文所属，(7)欄外見出し（30 字以内），(8)Abstract，(9)Key words（アルファベット順に 5 語以内），(10)本文，(11)摘要，(12)引用文献，(13)図表，(14)Appendix（著者が希望する場合，執筆要領 23 項を参照のこと）．
   B. 英文原稿：(1)表題，(2)著者名，(3)所属，(4)欄外見出し（約 12 語以内），(5)Abstract，(6)Key words（アルファベット順に 5 語以内），(7)本文，(8)引用文献，(9)要約（和文の表題・著者名・所属，和文要旨），(10)図表，(11)Appendix（著者が希望する場合，執筆要領 23 項を参照のこと）．
2. 短報については，原則として上記 1. に準ずるが，摘要（または要約）をつけない．
3. 資料・事例報告については，原則として上記 1. に準ずるが，Abstract，Key words，摘要（または要約）をつけない．
4. 本文中で複数の文献を引用するときは，発表年の古いものから新しいものへ，また，同一発表年のときは著者のアルファベット順に並べる．著者と発表年が同一の文献は，年号の後にアルファベットを付して区別する．著者が 3 名以上で第一著者・発表年が同じ文献も同様に区別する．また，3 名以上のものについては，「･･･ほか」または「･･･ et al.」とする．記述は下記の例および最新号の形式に準ずる．

   ･･･が明らかにされている（宮脇・奥田 1990; 木佐貫ほか 1992; 佐藤 1992; Sakio 1997; 久保ほか 2000a, b; Sakio et al. 2002）．
5. 引用文献は本文中に引用したものすべてを著者のアルファベット順に記載する．著者が 8 名以上の場合，最後の著者を除き，第 7 著者以降の名前を省略しても構わない．冊子体が刊行されない電子ジャーナルの文献は，書誌名・巻号の後に論文番号（またはページ数）と doi を記載する．また，冊子刊行前に電子的に早期公開された文献（巻号，ページが確定していないもの）を引用する場合，発表年は（印刷中）または (in press)とし，doi を記載する．記述は下記の例および最新号の形式に準ずる．

   堀川芳雄 1948. 氷河期前の植物群落と見なすべきエビゴケ. 生態学研究, **11**: 27-31.

   石渕隆広・笈木秀治・大原　雅・加藤　徹・島田　薫・須賀　丈・... 鷲谷いづみ 1999. マルハナバチ一斉調査（第二報）. 保全生態学研究, **4**: 71-75.

   Keeley, J. E. 1987. Role of fire in seed germination of woody taxa in California Chaparral. Ecology, **68**: 434-443.

   郡場　寛 1972. 植物生理生態, 第 14 版. 養賢堂, 東京.

   Krebs, C. J. 1978. Ecology: The experimental analysis of distribution and abundance, 2nd ed. Harper & Row, Publishers, New York.

   宮脇　昭・奥田重俊（編）1990. 日本植物群落図説. 至文堂. 東京.

   Noriyuki, M., Kondo, H., Shitara, T., Yoshikawa, M. & Hoshino, Y. (in press). A new formal classification for Japanese forest vegetation based on traditional phytosociological concepts. Applied Vegetation Science, https://doi.org/10.1111/avsc.12611

   沼田　真 1967. 植物的環境の解析と評価.「自然: 生態学的研究」(森下正明・吉良竜夫 編), 163-187. 中央公論社, 東京.

   Parker, V. T., Simpson, R. L. & Leck, M. A. 1989. Pattern and process in the dynamics of seed banks. In: Ecology of soil seed banks (eds. Leck, M. A., Parker, V. T. & Simpson, R. L.), 367-384. Academic Press, San Diego.

   ピールー, E.C. 1969. 数理生態学（南雲仁一 監訳, 合田周平・藤村貞夫 訳 1974）. 産業図書, 東京.

   Remmert, H. 1980. Ecology: A textbook (trans. Biederman-Thorson, M. A., 1980). Springer-Verlag, Berlin.

   Wagner, V., Večeřa, M., Jiménez-Alfaro, B., Pergl, J., Lenior, J., Svenning, J. C., ... Chytrý, M. 2021. Alien plant invasion hotspot and invasion debt in European woodlands. Journal of Vegetation Science, **32**: e13014. https://doi.org/10.1111/jvs.13014
6. 論文中に引用できるインターネット上の資料は，原則として情報の永続性が保たれているものに限る．永続性の判断が困難な資料の引用については，編集委員会の指示に従うこと．データベース等は引用文献には記載せずに，本文中に下記の例に準じて記載する．

   高山試験地の年降水量は気象庁の電子閲覧室（http://www.data.kishou.go.jp, 2003.9 参

照）に掲載されているデータを代用した．
山火事の平均焼失面積は National Interagency Fire Center, Wildland Fire Statistics（http://www.nifc.gov/stats/ wildlandfirestats.html, 2003.10 参照）のデータから算出した．

7. 和文原稿は，A4 版の白紙に上下各 3cm，左右各 2.5cm 程度をあけ，34 文字，30 行を 1 ページとする．なお，各ページ左余白に行番号を打ち，下部余白中央にページ番号を振ること．
8. 英文原稿は，A4 版の白紙に上下各 3cm，左右各 2.5cm 程度をあけ，約 80 文字，30 行を 1 ページとする．なお，各ページ左余白に行番号を打ち，下部余白中央にページ番号を振ること．投稿前に英文校閲を受けること．
9. 本文中の見出しおよび小見出しはボールドとする．
10. 本文中の動・植物名の和名はカタカナ，学名（属名・種小名など）はイタリック体とする．
11. 最終原稿におけるボールド，イタリック，上つきなどの各種指定は，文書作成ソフトの書式設定で行うこと．文書作成ソフトでできない場合は朱書きで行うこと．
12. 上記以外の体裁については，最新号の書式または学会ホームページの「原稿の表記に関する細則」を参照すること．
13. 原著論文は刷り上がり 14 ページまで，短報，資料・事例報告は 6 ページまで，総説は 16 ページまでを無料とし，原著論文と総説以外は原則としてこのページ数を超えないものとする．なお，原稿約 2.5 ページが刷り上がり 1 ページに相当する．超過分については，編集委員会が認めた場合に限り，著者の負担で掲載することができる．超過ページ印刷代は学会ホームページの「各種印刷料金」を参照すること．
14. 投稿時における原稿量の基準は，表題および Abstract，本文等，図の説明，図表を含む総原稿枚数で，短報，資料・事例報告は 15 枚以内とする（ただし本要領 7, 8, 15, 17 項を満たすこと．A4 版用紙に収まらない図表はその実枚数とする）．原稿量がこれらの基準を超える場合は，編集委員会の指示に従うこと．原著論文と総説は原稿量に制限を設けない．
15. 原稿では，図（写真も含む），表等は 1 ページに 1 点ずつ刷り上がり相当の大きさで作製すること．1 ページに収まらない表は複数ページに分割すること．表は所定の形式（学会ホームページに掲載）にしたがって作製する．また，各図表の挿入希望位置を本文原稿の右側余白に指定すること（最終原稿では朱書き）．
16. 図，表，写真等のカラー印刷は所定の料金とし，著者の負担とする．料金については学会ホームページを参照すること．ただし，J-STAGE に登載する PDF ファイルのみカラー表示とする場合は無料とする．
17. 表の説明は表の上部に書くものとし，図の説明は，図の下部に書くものとする．
18. 1 ページに収まらない表は，著者の負担で折り込みとすることができる．料金については学会ホームページを参照すること．
19. 原稿は本文等と図表を 1 つの PDF ファイル（原則として 3MB 以内）にまとめ，投稿原稿送付状（MS Word 形式）とともに電子メールで送付する．メールで投稿する際の件名および原稿ファイル名は「SVS-○○○○」（○○は投稿者のローマ字姓）とする．
20. 最終原稿（MS Word 形式のファイル．それ以外のアプリケーションで作成した場合はテキストファイルも必要）および原図・写真等（高解像度のもの）は，原稿受理後に編集委員会の指示に従って送付すること．
21. 著者校正は原則として初校に限って行い，誤植の訂正にとどめる．
22. 別刷は著者の負担で作製する．別刷の必要部数（50 部単位）を投稿原稿送付状に明記すること．料金については学会ホームページを参照すること．
23. Appendix のうち，編集委員会が必要性を認めたものは誌面に掲載する．以下の内容のものは，編集委員会の判断の下，J-STAGE に電子付録として掲載することができるものとする．
    - 採択の可否とは無関係の図表（現場の写真，フロラリスト，組成表，植生調査資料，プログラムコードなど）で，かつ著者が公表を希望するもの．
    - 採択の可否とは無関係の図表で編集委員会が公表を依頼し，かつ著者が公表を承諾したもの．
24. 原稿の作成・送付にあたっては，植生学会ホームページの「論文投稿」も参照すること．

付則 1. この要領は 2021 年 10 月 4 日以降に投稿された原稿に適用する（2021 年 10 月 3 日改定）．

付則 2. この要領の改定は，編集委員会の議を経て，運営委員会の承認を得て行うものとする．